

4K リモートカメラのコントローラー最上位モデルと大規模システム向けの管理アプリを拡充 リモートプロダクションの利便性を向上

キヤノンは、リモートカメラシステムの新製品として、リモートカメラコントローラーのハイエンドモデル“RC-IP1000”を 2023 年 12 月中旬に発売します。また、複数台のカメラやコントローラーを一括で管理する PC アプリ“マルチカメラマネジメントアプリ”の無償提供を 2023 年 11 月下旬に開始します。



RC-IP1000



マルチカメラマネジメントアプリ（使用イメージ）

映像コンテンツの増加にともない、制作作業の効率化や省人化に寄与する、リモートプロダクションが拡大しています。“RC-IP1000”は、リモートプロダクションで必要とされる操作性を追求しながら多くの機能を備えた専用コントローラーで、放送局を中心とした映像制作やイベント配信など、さまざまな場面で制作者のニーズに応えます。“マルチカメラマネジメントアプリ”は、カメラの初期設定や管理を一括で簡単にできるようにすることで、大学の講義配信やコンサートのライブ中継をはじめとした多数のカメラやコントローラーを使用する場面で活躍します。リモートカメラシステムの製品ラインアップを拡充することで、リモートプロダクションの利便性向上に貢献します。

1. ハイエンド映像制作に応える緻密な制御が可能なリモートカメラコントローラー“RC-IP1000”

機能をダイレクトに実行できる操作ボタンやダイヤルを操作しやすい間隔・角度で配置するとともに、視認性の高い 7 インチのタッチパネルを搭載し、快適な操作性を実現しています。IP^{※1} とシリアル制御の双方に対応し、リモートカメラのパン、チルト、ズーム操作やフォーカス、露出、ホワイトバランスなどを遠隔で設定・調整することができます^{※2}。放送業界で主流の 12G-SDI による 4K/60P の映像入出力に対応するほか、IP による映像入力と HDMI による映像出力に対応しています。カメラから IP で入力された映像は、タッチパネル上で一画面に最大 9 台まで表示でき、複数台のカメラを同時に操作することが可能です。最大 200 台までのカメラ接続が可能で、大規模なシステム制御にも対応します。

2. 大規模リモートカメラシステムの管理を簡易化する“マルチカメラマネジメントアプリ”

用途に合わせて最大 200 台までのカメラやコントローラーを一括で管理することができます^{※3}。従来 1 台ずつ実施する必要があった、カメラへの管理者名/パスワード、IP アドレスの登録や、コントローラーへのカメラ登録などを 1 つのアプリ上で実行できるため、大規模システムにおいても手間をかけずに初期設定を行うことができます。カメラの映像や接続状態が一覧表示でモニタリングでき、ファームウェアの更新、再起動、初期化などのメンテナンス作業にかかる負荷を軽減します。

※1. 「Internet Protocol」の略。インターネット上で情報のやり取りをする際の通信方式。

※2. 対象カメラの詳細はホームページでご確認ください。

※3. 対象デバイスの詳細はホームページでご確認ください。

製品名	希望小売価格	発売日／提供開始時期
RC-IP1000	オープン価格	2023 年 12 月中旬
マルチカメラマネジメントアプリ	無償	2023 年 11 月下旬

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-07-0032
 - リモートカメラシステムホームページ : canon.jp/remotecam

〈RC-IP1000 の主な特長〉

1. 快適な操作性

- 機能をダイレクトに実行できる操作ボタン、ダイヤルを操作しやすい間隔・角度で配置。
- 視認性の高い7インチのタッチパネルを搭載し、直感的な操作が可能。
- コントロールレバーは、前後左右の動作でカメラのパン、チルトが可能で、ねじり動作にズームや絞りの操作を付与することもできるなど、片手での操作性を拡大。
- ズームロッカーは、放送用ハンディレンズと同様の操作性を実現するとともに、フォーカスダイヤルの近くに配置し、スムーズなレンズ操作をサポート。
- 好みの機能を付与できるユーザーボタンや、コントロールレバーとズームロッカーの反応速度を調整できるスピードダイヤルを搭載し、使用環境に合わせたカスタマイズが可能。
- リモートカメラ操作時に使用頻度が高い、プリセット機能を簡単なボタン操作で素早く呼び出し可能。



ステータス画面



メニュー画面

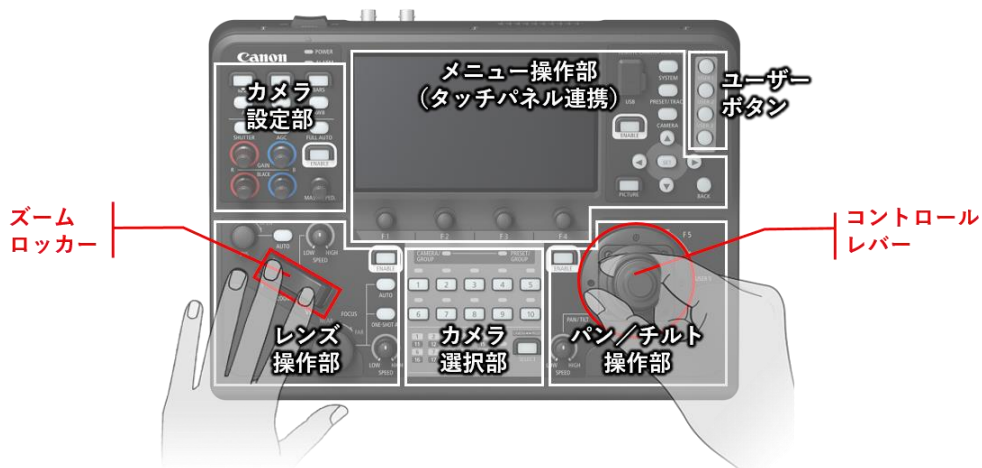


ピクチャー画面
(1カメラ映像表示)



ピクチャー画面
(マルチカメラ映像表示)

タッチパネルの表示イメージ



操作レイアウト

2. 豊富な機能

- 12G-SDI による 4K/60P の映像入出力に対応するほか、IP による映像入力と HDMI による映像出力に対応。
- カメラからの IP 入力映像はタッチパネル上に一画面で最大 9 台まで表示でき、タッチパネル上の映像を見ながらカメラ操作することが可能。
- 接続された複数台のカメラに対し、同時に同じ動作や設定を適用することが可能。さらに、各カメラに設定したプリセット番号を組み合わせて実行できるマルチプリセット機能により、同時に複数台のカメラをあらかじめ決めた画角に動かすことが可能。
- カメラと LAN で接続するだけでカメラを自動で検索して登録することができ、PC を使わずに初期設定が可能。
- タッチパネル上に顔や瞳などのフォーカス枠を表示し、画面タッチで AF 操作することが可能。^{※1}
- 「アドオンアプリケーションズシステム」と連携でき、「自動追尾アプリケーション RA-AT001」と「自動ループアプリケーション RA-AL001」（ともに 2023 年 4 月発売）を操作することも可能。

※1. フォーカス枠表示、タッチフォーカス対応はカメラ仕様に準じます。



映像インターフェイス

3. 優れた接続性と互換性

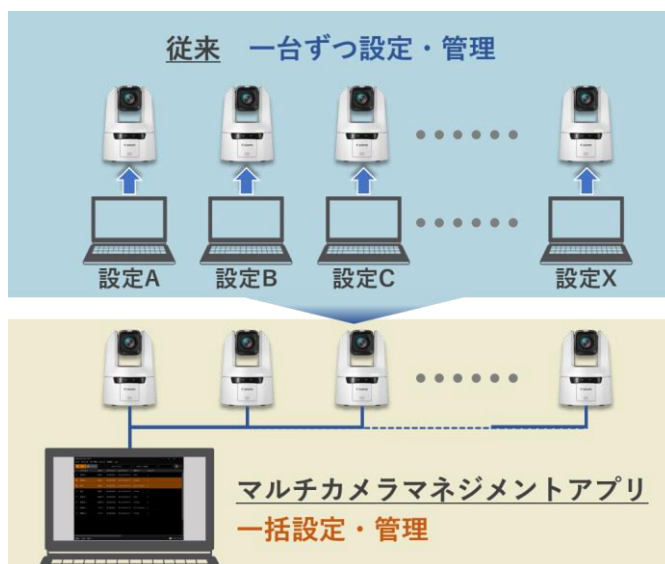
- 最大 200 台までのキヤノン製カメラの接続が可能で、大規模なシステム制御にも対応。
- キヤノン独自の IP「XC プロトコル」に対応し、ネットワーク接続された複数台のキヤノン製カメラを共通の操作や設定で使用することが可能。
- キヤノン独自のシリアル通信プロトコル「NU プロトコル」に対応。最大 5 台までのキヤノン製カメラを接続でき、対象カメラの切り替えによってコントローラー一台で操作可能。
- LAN ケーブル一本で給電、制御、配信が可能な PoE+ 給電と、汎用性の高い DC12V（XLR コネクター）の電源入力に対応。



背面端子の構成

〈マルチカメラマネジメントアプリの主な特長〉

- 用途に合わせて最大 200 台までのカメラ、コントローラーの一括管理を実現。
- 従来 1 台ずつ実施する必要があった、カメラへの管理者名／パスワード、IP アドレスの登録や、コントローラーへのカメラ登録などを 1 つのアプリ上で実行でき、大規模システムにおける初期設定を簡易化。
- 接続状態、ファームウェアバージョン、エラーなどを一覧表示でき、効率的なモニタリングが可能。
- 1 ページに最大 25 台までのカメラ映像を表示でき、撮影状況を素早く確認することが可能。
- ファームウェアの更新、再起動、初期化などのメンテナンスを一括で実行可能。



マルチカメラマネジメントアプリによるソリューション

The screenshot shows the 'マルチカメラマネジメントアプリ' (Multi-Camera Management Application) interface. At the top, there are menu items: 'ファイル', 'デバイス一覧', 'グループ管理', 'メンテナンス', '電源操作', and 'ヘルプ'. Below the menu is a toolbar with buttons for '一覧' (List), 'モニタリング' (Monitoring), and a '4x4' grid icon. There are also dropdown menus for 'グループ' (Group) set to 'すべて' (All) and 'フィルター' (Filter) set to 'モデル名' (Model Name). The main area is a table with columns: 'デバイス名' (Device Name), '状態' (Status), 'IPv4アドレス' (IPv4 Address), 'MACアドレス' (MAC Address), '機種名' (Model Name), and 'Add-on'. The table contains 8 rows of camera data. The first row is '講義室1-1' with status '接続可' (Connected). The second row is '講義室1-2' with status '接続可' and is highlighted in orange. The third row is '黒板' with status '接続可' and is also highlighted in orange. The fourth row is '教師' with status '接続可'. The fifth row is '講義室2-1' with status '接続不可' (Not Connected). The sixth row is '講義室2-2' with status '接続不可'. The seventh row is '講義室3-1' with status 'スタンバイ' (Standby). The eighth row is '講義室3-2' with status 'スタンバイ'. At the bottom left, it says '登録数: 8/200 選択: 2'. At the bottom right, there is an 'アプリケーションログ' (Application Log) icon.

デバイス名	状態	IPv4アドレス	MACアドレス	機種名	Add-on
講義室1-1	接続可	192.168.100.1	18-0C-8E-86-95-55	XF605	0
講義室1-2	接続可	192.168.100.2	18-0C-8E-86-95-11	CR-N500	2
黒板	接続可	192.168.100.3	18-0C-8E-86-95-57	EOS C500 Mark II	0
教師	接続可	192.168.100.4	18-0C-8E-86-95-43	CR-N300	1
講義室2-1	接続不可	192.168.100.5	18-0C-8E-86-95-14	XF605	0
講義室2-2	接続不可	192.168.100.6	18-0C-8E-86-95-15	CR-N500	0
講義室3-1	スタンバイ	192.168.100.7	18-0C-8E-86-95-74	EOS C500 Mark II	0
講義室3-2	スタンバイ	192.168.100.8	18-0C-8E-86-95-17	CR-N300	2

複数カメラの設定値や状態の一覧表示

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

〈ご参考〉

1. 「IBC2023」への出展

2023年9月15日（金）から18日（月）まで、オランダ・アムステルダムで開催される国際放送機器展「IBC2023」のキヤノンブースにおいて、本製品を展示する予定です。

2. リモートカメラの市場動向

タブレットやスマートフォンなどのデバイスの普及により、多くの人がいつでも手軽に映像を視聴できる環境を手に入れています。これに伴い、近年、映像コンテンツの需要が急速に拡大し、録画映像・ライブ映像を問わず、多くの映像コンテンツが制作・配信されています。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響でリモートによる映像制作・配信が加速しており、例えば教育分野における授業映像の配信、ビジネス分野におけるセミナー映像の配信などがさまざまな現場で普及しています。また、放送分野では、放送局・プロダクションがリモートカメラを用いた番組制作環境を構築しつつあります。このように、映像制作現場ではリモートによる低コスト化・省人化を実現する製品やソリューションに対するニーズが高まっています。
(キヤノン調べ)